Spring Tour 2013

M-TOY BOX

3rd Album

鞄を抱いた旅人

M-TOY BOX…
2009年7月活動開始。
ヴァイオリン、アコースティックギター、カホンによるアコースティック編成で、スパニッシュ、ジプシースウィングなサウンドを中心にオリジナル曲からカバー曲を演奏。2010年に1stアルバム「Healing Force ~ 癒しの力」、2011年に2ndアルバム「GARDEN PARTY」を発売。各地でライブ活動を行う。ジャズのイメージとは違うに溜まるサウンドで気軽にライブを楽しめることも人気になっている。

佐藤裕一 (Cajon)

大学在学中に本格的にドラム演奏に取り組み、Drumsを村石雅行氏に、Timbalesを美座良彦氏に師事。卒業後、東京・札幌を中心に数々のレコーディング(CMなど)やライブを行う。現在在籍しているバンド・ユニットはラテン、コンテンポラリージャズ、フュージョン、ポップス、ゴスペルなど多岐に渡り、自己のグループやサポート参加しているユニットでのCD発表は30作以上に及ぶ。
また、その活躍ぶりは雑誌「ジャズ批評」2008年5月号に特集記事で紹介されている。2006年に高橋ゲタ夫(b)（熱帯ジャズ楽団など）、斎藤崇也(p)（オルケスタ・デ・ラ・ルスなど）と結成した「Hora Esperior」も好評！一方でRise音楽院の講師も務める。

http://homepage2.nifty.com/bugworm/sugars/index.html
共演歴/高橋ゲタ夫、美座良彦、佐野聡、都筑章浩、津垣博通、中島徹、ルイス・バジェ、サンプラザ中野、大黒摩季、池田達也、森村献、斎藤崇也、赤木りえ、宮野弘紀

境谷睦美 (vln)

2歳よりヴァイオリンを始める。
東海大学学園オリンピック音楽部門金賞受賞、小学2年～高校3年までHBCジュニアオーケストラに所属、高校3年時にコンサートミストレスを務める。大学は山岳部に所属、北海岳友会の50周年記念事業に参加し、中国ヒマラヤ、ムスターグ・アタ(7546m)を目指し6400mまで到達。現地の音楽を学びヴァイオリンで親睦をはかる。
山を愛する異色のヴァイオリニストとして、クラシックのみならず、タンゴ、ケルト、スペイン等を好み、ディナーショーやライブなど積極的に活動している。目指すは、世界中の人と音楽でコミュニケーションをすること。山小屋コンサートだけでなく、小学校や施設へ音楽のプレゼント活動も積極的に行っている。

町田拓哉 (gt)

1976年生まれ。
14歳で初めてギターを手にし、高校入学後から洋楽ロックを中心としたバンド活動をはじめる。
北海学園大学在学中は、blues、funk、fusuion等、様々なバンドでプレイ、学内でも一目置かれる存在に。卒業と同時に本格的にプロとしての活動をスタート。現在は札幌在住アーティストのライブ、レコーディングのサポートや、作曲家としての活動をメインに活躍中。また、通信制高校の音楽コースにてギター実技、バンドアンサンブルの講師も務める。2005年より(株)ポニーキャニオンミュージック開発部スタッフとして、北海道地区の新人アーティスト発掘も行っている。

古舘賢治 (gt)

1980年生まれ。
大学進学後、ジャズを山崎英夫氏に師事。札幌を中心に、幅広くライブ、レコーディングを行っている。2008年5月までJRtowerホテル日航札幌35F[sky-j]にて演奏。
2006年6月ソロでのsingleCD「up the wind」を発売。他、多ジャンルのCDにレコーディング参加。2009年8月 日本作編曲家協会(JCAA)主催の「シネマトラック」コンサートにアコースティックギターで出演。フジ・2006年昼ドラ「紅の紋章」劇中曲にギターで参加。

サウンドトラックCD「紅の紋章」/さかいゆきこ「おでんのうた」/さかいゆきこ「POPPO☆POP」/高橋智美「旅の果て」/ガラナレコーズ GUARANA Compilation One 川村大太「カシス」/梅組和「summer tour 2009 K to K」/ガラナレコーズ GUARANA Compilation two 永山ユカリ/Driving jazz hokkaido「Lake」
共演歴/原田洋一郎、タイガー大越、サキタハジメ、山村誠一、千葉葵、陣内大蔵、折原寿一、奥野義典、佐々木幸雄 etc...

4月12日(金) 高畠町 文化ホールまほら ホワイエ

4月13日(土) ライブスペース Jam

どちらも START 19:00～

チケット 大人3000円、高校生以下1000円

ライブスペース Jam

℡0238-42-4533 ／ 090-2989-1552（片倉）